

# みどりネットワーク



△「みどりと水のまちづくり」を目指す今泉



## 今泉

### みどりと泉に恵まれた 人間性豊かなまち

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。7月は伝法、8月は富士見台地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

今泉地区は富士山のふもとの南端に位置し、沖田遺跡を代表とする弥生時代の遺跡など、早くから人々の安住の地として栄えました。また、「源太坂」「平家越」など、源平時代の史跡がその名を今に残している地区です。

この地区は昔から富士山の伏流水が湧出し、明治十二年富士地区最初の手すき和紙工場がつくられ、紙・パルプ産業の礎となりました。丘陵地帯は住宅化が特に著しく、平たん地は水田地帯でしたが、現在、工場適地として自動車工場等の大手工場が並んでいます。

この地区の課題は、地盤の低い地域の浸水対策、工場・住宅・商店の住工分離対策、狭隘な道路対策があげられます。

今泉地区は産業のまち富士市の中心的な位置にあり、工業とともに発展してきました。今後は生活環境の保全に配慮し、緑の中にきれいな水が流れる「みどりと水のまちづくり」を目指し、人間性豊かな地区としていく必要があります。



△前列左から富恵、光義さん、後列左から本行さん、雅蔵さん、愛犬ロッキー、歩さん、逸子さん



### 文化活動一家

上和田 芦沢さん一家

豊かな趣味は豊かな人生を生み出します。一家でそれぞれ文化的な趣味を持つ、なごやかな家族が芦沢さん一家。今回は、夕食前の芦沢さん一家におじゃましました。

芦沢さんのお宅へおじゃますると、まず目につくのが、よく手入れされた庭。四季の花が植えられ、住んでいる人のやさしさが伝わってきます。園芸担当は世帯主の光義さん（六十九歳）と息子の本行さん（四十五歳）です。

先が器用で、和裁・洋裁なんでもこい。最近は大正琴に挑戦しています。

本行さんの妻逸子さん（四十一歳）は、華道一筋二十二年。「生け花は御飯より好き」と言うほどで、今は華道教授です。

富士高二年の雅蔵君はハローモニカの名手。小学生のときから習っており、タンゴやシャンソンもハローモニカでお手の物。

また、吉原二中二年の歩さんも幼稚園からピアノを続けています。

芦沢さん一家のルールは「互いに個性を尊重すること」（本行さん）。そんな思いやりが、文化活動を実のあるものに行っているように思えました。

